



じゅうみんけんうんどう

自由民権運動は、どんな運動だったの



国会の開設、国民の政治参加、^{けんぽう}憲法の制定、国民の
^{けんり}権利を定めることなどを主張した政治運動だよ。

自由民権運動の内容

明治維新後の政府のしくみは、^{だじょうかんせい}太政官制とよばれるもので、今の大臣にあたる参
^ぎ議、特に^{さつま}薩摩（鹿児島）・^{ちょうしゅう}長州（山口県）出身の参議が、^{じっけん}実権をにぎっていま
した。彼らは日本を、^{てんのう}天皇を中心として、^{かんりょう}官僚（公務員）が支配する国にしよう、
としていました。これに対し、国会を開設して、国民を政治に参加させること、憲
法を制定して、^{じゅうけん}自由権・^{びょうどうけん}平等権・^{さんせいけん}参政権などの国民の^{けんり}権利を定めることなどを主
張したのが、自由民権運動です。

^{みんせんぎいんせつりつけんぱくしよ}「民撰議院設立建白書」によって、自由民権運動が起こった

1874年、旧参議の^{いたがきたいすけ}板垣退助・^{ごとうしょうじろう}後藤象二郎らが、「民撰議院設立建白書」を政
府に提出しました。これは、^{こうげき}官僚が自分勝手に政治を行うことを攻撃し、国会を設
けて、人々がいっしょに国を支えるしくみの国にしよう、と主張するものでした。
今のような^{しゅけんざいみん}「主権在民」の考えによるものではなかったのですが、新聞に発表され
ると、大きな^{はんきょう}反響をよび、自由民権運動が起こりました。

自由民権運動が広がると、政府は^{だんあつ}弾圧した

自由民権運動には、旧参議、官僚出身者、政府のやり方に不満をもっていた士族
や知識人、地方の^{ごうのう}豪農・^{ごうしょう}豪商の有力者などが参加し、各地に^{りっししゃ}立志社（高知県）な
どの政治団体が作られました。政府はすでに、国会の開設、憲法の制定の準備を始
めていたのですが、国会開設運動がさかんになると、神経をとがらせて、自由民権
運動を弾圧しました。1881年に^{じゅうとう}自由党、翌年に^{よくねん}立憲改進黨ができると、これら
の政党と政府は、全面的に対立しました。